



—東地中海地域ニュース—

トルコ：OIC 経済貿易常任委員会首脳会合の開催

(11月10日付現地各紙)

1. 11月9日イスタンブルにおいてOIC (Organization of The Islamic Conference イスラム諸国機構) 経済貿易常任委員会首脳会合が開催された。

同会合には、現在OIC議長国のトルコからギュル大統領、エルドアン首相、ダーヴトオール外相の他、諸外国からアサド・シリア大統領、アフマディネジャード・イラン大統領、ファイヤード・PA首相、カルザイ・アフガニスタン大統領、ナデル・ヨルダン首相、バキエフ・キルギス大統領、アキロフ・タジキスタン首相、イヒサンオール・OIC事務局長（トルコ出身）等が出席した。

2. 同首脳会合で承認された宣言：

- ・ 加盟国間における民間部門を含めた経済・貿易関係の強化を図る。また、貧困の撲滅を目指す。
- ・ OICにおける経済及び貿易に関する協定の全加盟国による署名を目指す。
- ・ 「10年間行動計画」で示されている通り、2015年までにOIC諸国間の貿易量の増加（各加盟国の全体貿易量に占めるOIC諸国間貿易を20%に到達）を目指す。
- ・ OIC加盟国間の再生エネルギーを含めたエネルギー分野での協力を図る。
- ・ イスラム銀行の機能強化を目指す。
- ・ 食料に関する安全保障政策の強化を目指す。
- ・ 農業、観光、交通分野での協力を図る。
- ・ 地球温暖化対策における協力を図る。

3. なお、ギュル大統領は、OIC首脳会合の一環として、アフガニスタン周辺国非公式協議を開催し、「アフガニスタンをテロリストの潜伏地にしてはならない。アフガニスタンに関する我々の第一の目標は、アフガニオスタンに平和と安定をもたらすことにある。次なる目標は、アフガニスタンの安全保障をアフガニスタンの人々の手に委ねることである。我々は永遠にアフガニスタンに留まる事は出来ない」と述べた。